

カトリック河原町教会だより

2014年10月

神さまの祝福のうちに ～敬老感謝ミサと懇親会～

9月14日(日)に75歳以上の方々のための「敬老感謝のミサ」が行われました。花井神父司式のミサで、聖堂いっぱいにあふれた会衆は、共に神さまの豊かな祝福をいただきました。感謝ミサにあたり教会から75歳以上、348名の方に案内状が送られ、この日の出席者は約120名でした。ミサ後の懇親会には63名の方が出席し、食卓を囲み、新入会員の挨拶、ヘルマンハーブの演奏を聴き、全員での合唱など、和やかで楽しいひと時を過ごしました。



主は皆さんとともに

「主は皆さんとともに」と「また司祭とともに」は、ミサにおいて、キリストの現存を確かめ合う言葉である。私たちがミサで共同体として集まる時、私たちがみことばに耳を傾けるとき、主の食卓を囲むとき、そして、私たちがそれぞれの生活の場に派遣され生きる時、キリストがおられる。ミサにおいて私たちは、このキリストの現存を分かち合い、確かめ合う。

第二バチカン公会議の『典礼憲章』において、「キリストはつねにご自分の教会とともにおられ、とくに典礼行為のうちにおられる。」(第7項)と教えられている。第二バチカン公会議以降の時代を生きる私たちは、『典礼憲章』のこの言葉を大切に、イエス・キリストが今、ここに生きておられることを互いに確かめ合っていかなければならない。特に、ミサにおいてしっかりと確かめ合っていきたい。



洛東ブロック担当 一場 修 神父

また『典礼憲章』は、教会活動が典礼に限られないことを明らかにしつつ、次のように宣言している。「典礼は教会の活動が目指す頂点であり、同時に教会のあらゆる力が流れ出る源泉である。」(第10項)

つまり、私たちはミサで得たキリストの現存を、それぞれの生活の場に出会う人々と分かち合うよう招かれている。その分かち合いは、出会った人々に対する主の晩餐への招きとなる。私たちがキリストによって派遣されていくとは、このような使命を受けることを意味する。派遣の祝福のときの「主は皆さんとともに」という言葉にはこの使命の意味がこめられている。この派遣のときの確かめ合いの言葉をいつも心に刻み、福音宣教に励んでいきたい。

「あきらめるということ」 アンノ 菅原 友明 助祭

4月から、日本カトリック神学院の東京キャンパスで、助祭としての養成を受けさせていただいております。神学院生活の中心は祈りで、毎日多くの時間を聖堂で共に祈って過ごしております。自分が生きていること、生かされていること、そして、自分の命が永遠の命とつながっていること、祈りを通してこの3つのことに開かれてゆくようにと、言われています。

私たちは自分自身の願望や興味関心という枝葉末節ばかりを見つめすぎて、自分が生きているという単純素朴な根幹のほうを見失ってしまい、ここから不満や怒りや妬みや自己嫌悪など、様々な不安が生まれてきます。自分自身に閉じ込められた堂々巡りを一休みして、自分が生きている、存在している、そのことをしっかりと意識して、そこに立ち戻り、そこにたっぷり留まってみると、本当に大切な永遠の命が見えてくるのだと思います。

私たちが思い悩んでしまうのは、転んだら大変だと恐れているからですが、実際に転んでしまったとき、それでも全然大丈夫な自分を見出します。ダマスコへの道で転んで倒れたパウロのように、転ん



すがわらともあき
菅原友明 助祭

霊名 アンノ
出身地 千葉県松戸市
誕生日 1969年12月5日

でも大地がしっかり支えてくれていた、その事実が目が開かれたときから、本当の命が始まってゆきます。

神学院では、自分の用件をあきらめて聖堂に集うということを繰り返しながら、自分の用件など後回しにしても全然大したことはないのだと身をもって体験してゆきます。

あきらめることをギブアップといいますが、直訳すると「上に与える」「すっかり手放す」ということです。自分自身の計らいをギブアップしたときに、生かされていること、永遠の命につながっていることへと自分が開かれてゆき

ます。私たちのためのイエス様のギブアップに、私たちは結ばれているからです。

私は、27歳のとき、東京の立川教会で洗礼を受け、31歳のときに召命の道を歩むため退職して京都にきましたが、それからすでに14年の歳月が流れました。この間、良い意味でも悪い意味でも色々ギブアップしてきましたが、まだまだ手放さなくてはなりません。いまだに司祭になっていないということに神様の計らいを感じていますが、このたび、京都教区に転籍させていただき、神様の御心のままに用いていただけたらと、そのことを思っております。

河原町教会の皆様にはいつもお祈りをいただき感謝しております。どうぞ、主の御心が行われますようにお祈りください。今後ともよろしくお願い申し上げます。



夫助祭・菅原助祭・崔神学生・大塚神学生
(2014年8月 びわ湖パレイにて)

■ 行事予定

四ページの行事予定欄に記載。

■ 協議事項

◆ クリスマス実行委員会からの報告

九月二十七日に委員会開催予定。市民クリスマスのライブ映像放映(聖堂の外での必要予算の概算は十三万円。LEDキャンドルライトと電飾の予算は二万二千元。補聴設備とマイク調整について)

◆ 九月十日に正式に発注の予定。導入完了は十月末から十一月初旬になる見込み。現行のマイクについても音量制御に問題が生じており、改善費用の見積もりは、約十五万円、発注を予定している。

◆ ミサの聖書朗読の奉仕希望者への対応部会登録者以外の朗読奉仕希望者について昨年の登録名簿の再確認を行い、また奉仕者を広く募る方向で対応していく。

◆ 京都教区内の災害被害支援について
教区内で災害が起きた場合の支援制度の基準を、河原町教会として設けたい。

◆ その他
墓苑管理委員と選挙管理委員について、新しく選任する必要がある。大日山墓
地への合同墓参は、今後は行われたい。

京都キリシタン研究会と合同で、大塚・堺のキリシタン史跡巡礼を実施する。
⑤ザビエル訪れ会年内予定の訪問は完了した。継がりの会との連携で、教会を離れている方へのアプローチが進展している。
施設管理部美化デーは予定通り行われ、前庭ベンチの補修、地下トイレ、エアコン・フィルター、換気扇の整備を実施した。
広報部十一月三十日のウェブサイトのリニューアルに先立ち、担当者が十月評議会に出席し、説明をすることが承認された。

みことば によって 生きよう

～「レクチオ・ディヴィナによる主日の福音の分かち合い」～

河原町教会教育部主催による信徒の集いの一つとして、昨年の9月から始まりました。現在、毎月第3火曜日の午前中に鶴山進栄神父ご指導のもと、10数名で行っています。



◆レクチオ・ディヴィナとは

レクチオ・ディヴィナ (LECTIO DIVINA) とは、非常に古くから修道院などで行われている「聖なる読書」のことです。聖書のみことばを聴き、単に頭や文字で理解するのではなく、黙想しつつ、ゆっくりと時間をかけて味わうものです。

教皇フランシスコも使徒的勧告『福音の喜び』の中で、「みことばを通して主がいわんとすることに耳を傾け、聖霊によって造り変えてもらうための具体的な方法があります。それはレクチオ・ディヴィナと呼ばれるものです」(135頁No.152)と述べておられます。

◆集いはどんな流れで

この集いの中では、次の主日の福音が4回、ゆっくり朗読されます。参加者はそれを、今ここで神が自分に語りかけられている言葉として聴き、さらにその語りかけに対して応答していきます。その時の自分の思い、生き方の中で、共におられる神がどのように働きかけてくださるかを経験することができます。

そして、聖書のみことばを聴き、黙想した後、分かち合いが行われますが、特別難しいものではありません。どうも話すのが苦手だと思われる方にも、神さまが主導権をもって導いてくださることを信じて、一度、レクチオを経験されることをお勧めしたいと思います。

◆みことばの不思議な力

その時に語られるみことばが、祈りのうちに自分の中で生き生きと動き始め、予想もしなかったような気づきやメッセージが与えられるという豊かな体験ができるかもしれません。そして、レクチオ・ディヴィナで主日の福音を聴き、祈り、分かち合うことを通して、次の主日ミサに、より深くあずかる

ための準備ができるのではないかと思います。



〈参加者の感想〉

● 神を体験するために、自分の思いを捨てて心を開き、心に触れたみことばを分かち合います。4回の朗読と分かち合いを通して、次第に深く神さまのみことばが心に入ってきます。この集いの中で、わたしの心にはいつも「ベラカー」というヘブライ語が思い浮かぶのです。日本語で「贈り物・たまもの・祝福・感謝・賛美」と幅広く訳されるようです。レクチオ・ディヴィナに参加するようになって、神さまのみことばこそわたしたちへのかけがえのない「ベラカー」だと、より強く思うようになりました。(H)

● ごミサを共にささげ、キリストのご聖体に養われた深い感謝のうちに、レクチオ・ディヴィナに移ります。

鶴山神父様の朗読で、主日のみことばを4度聴きます。みことばが耳から心に落ちてゆき、奥深いところにしみ通ってゆくのを実感します。確かな心の変化を味わうことができます。本当に神さまの恵みです。第3火曜日を、いつも心待ちにしています。(N)

河原町教会九月評議会報告要約

開催日 二〇一四年九月七日(日)

■司祭団の報告

- ①先週から、献金先は広島土砂災害地域に重点を置く。京都教区内で発生した災害についても、今後の対応策を検討してほしい。
- ②会館の合鍵紛失による鍵の交換と、3階トイレの改装工事を行う予定。
- ③菅原助祭の京都教区への配属が決定した。

■田中司教霊名のお祝い報告

八月三十一日(日)十時半のミサでお祈りをし、役員が霊的花束とお祝いをお届けした。当日高野教会でミサの司式をなさり、お元氣にお過ごしのご様子。

■部会報告

- 典礼部 ①維持献金はミサの献金回収カゴでなく、聖堂後ろの献金箱に入れることを徹底させる。②従来八月に行っていた諸死者追悼ミサを、十一月二日の死者の日と一本化して追悼のミサを行う。
- 財務部 ①維持献金未納者への対応について、十月中に実施を開始する。②五部会の予算執行報告と次年度予算案を年内に提出することを、十月評議会で確認する。
- 教育部 ①土曜学校八月の鍊成会は無事に終了した。始業式は九月六日に行われ、新しく3名の入学者を迎えた。②中高生会九月七日が始業式。九月二十八日(日)にコーヒートップ開催予定。二学期は「キリスト教の2000年」をテーマにして学ぶ予定。③合同教育部会 成人の部教育ミーティングが九月二十日(土)十四時から、山科教会において開催される。
- ④キリシタン研究会 十月四日(土)に

◆ 2014年10月・11月の行事予定 ◆

(11月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定		
10 月	5 日	評議会 10月例会 ロザリオの祈り 10月/毎曜日10:00~10:20
	6 月	~10日(金) 教区司祭黙想会
	12 日	衣笠墓地清掃 10:30 ミサ後
	18 土	洛東ブロック会議 14:00 (伏見教会)
11 月	2 日	〈死者の日〉諸死者追悼ミサ 10:30 教区合同墓参 14:00 衣笠教会・墓苑
	3 月	第35回京都南部ウオーカソン 9:30~14:30
	8 土	評議会 11月例会 14:00
	9 日	七五三お祝い 10:30 ミサ
	30 日	溝部司教霊名(フランシスコ・ザビエル 12/3祝日)のお祝い 10:30 ミサ 教会美化デー

第35回 南部ウオーカソン

~鴨川沿いを一緒に歩きましょう~

11月3日(月・祝) 雨天決行

- * 受付開始 8:45
- * 開会式 9:30 《河原町教会》
- * スタート 10:00
- * 終了 14:30

.....集めたお金の送り先.....

1. 東日本大震災支援
2. ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
3. フィリピン中部台風被災者支援

☆昨年度の参加者は約700名でした。今年も参加、スポンサー協力等、よろしくお願ひします。

バレット商店街
“のきさき市”
開催のお知らせ11月24日(月・祝)
10:00~16:00

場所：教会前庭ほか

- ☆ 手作り品を中心に約50の出店があります。ぜひ、お越し下さい。



◇「教会だより」郵送についてのお知らせ

毎月発行される「教会だより」を、ご事情により受け取りにくい等でご自宅までの郵送を希望の方は、遠慮なく教会事務室までお知らせください。また、友人・知人のご自宅までの郵送を希望の場合も、事務室までお知らせください。広報部から毎月郵送させていただきます。

「トイレ改修工事」(洋式設置)完了のお知らせ

会館3階のトイレの改修工事が終わりました。ご協力に感謝します。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「秘跡を学ぶ」

10月2日(木) 14:00

11月13日(木) 14:00

12月18日(木) 14:00

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

- ◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

- ◆ 参加ご希望の方は、事務室までお申し込みください。10時からミサがあります。どなたでもご自由にご参加ください。